

シンポジウム「気候変動の科学とわたしたちの未来～IPCC と兵庫県民の対話～」の開催について（お知らせ）

平成 26 年 11 月 18 日（火） 16:00
環境省地球環境局総務課研究調査室
直通：03-5521-8247

代表：03-3581-3351

室 長：竹本 明生（内線 6730）

室長補佐：野本 卓也（内線 6731）

担 当：藤井 麻衣（内線 6732）

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）による第 5 次評価報告書（AR5）の公表を踏まえ、12 月 18 日（木）13:30～16:30（予定）、神戸・ANA クラウンプラザホテルにおいて、シンポジウム「気候変動の科学とわたしたちの未来～IPCC と兵庫県民の対話～」を開催致します。なお、参加には事前申込みが必要です。

1. 概要

昨年から本年にかけて、IPCC より、3 つの作業部会報告書と統合報告書から成る AR5 が公表された。AR5 に示されている気候変動に関する最新の科学的知見を、同報告書の作成をリードした IPCC 議長団の一員である David Wratt（デイビッド・ラット）第 1 作業部会副議長や AR5 執筆者等の専門家からの要点をおさえた説明により、一般市民にわかりやすく伝え、市民の気候変動問題に対する知識や関心を深めることを目的に、シンポジウムを開催する。

本シンポジウムでは、兵庫県における気候変動の影響やそれに対する適応策について具体例をとりあげ紹介し、兵庫県やその周辺地域の住民が気候変動問題をより身近に感じ、対応策について考える契機を提供する。

2. 日程等

日 時：平成 26 年 12 月 18 日（木）13:30～16:30（予定）

場 所：ANA クラウンプラザホテル神戸（参加者 100 名程度を想定）

〒650-0002 神戸市中央区北野町 1 丁目

アクセス：<http://www.anacrownplaza-kobe.jp/facilities/access/>

主 催：環境省

共 催：兵庫県

備 考：日英同時通訳あり

2. 日程等

開会挨拶

環境省 (予定)

兵庫県 (予定)

第1部 講演

講演1

「IPCC 第5次評価報告書 統合報告書の概要 (仮)」

Dr. David Wratt IPCC 第1作業部会副議長 (ニュージーランド国立大気水圏研究所 (NIWA) チーフサイエンティスト) (予定)

講演2

「IPCC AR5 WG2 報告書の概要、今後の日本の気候変動影響 (仮)」

日本人 IPCC 専門家 (調整中)

講演3

「兵庫県の気候変動影響 (仮)」

新澤 秀則 (兵庫県立大学 経済学部 教授) (予定)

第2部 パネルディスカッション

「今後の気候変動対策 (仮)」

登壇者

ファシリテーター：鈴木 胖 公益財団法人 地球環境戦略研究機構 (IGES) 関西研究センター所長 (予定)

パネリスト(1)：David Wratt (デイビッド・ラット) IPCC 第1作業部会副議長 (予定)

パネリスト(2)：日本人 IPCC 専門家 (調整中)

パネリスト(3)：新澤 秀則 (兵庫県立大学 経済学部 教授) (予定)

パネリスト(4)：竹本 明生 環境省地球環境局総務課研究調査室長 (予定)

パネリスト(5)：(調整中)

フロアとの Q&A

4. 参加申込

参加料無料、事前申込制となっております。

12月16日 (火) までにウェブサイト (<http://www2.convention.co.jp/ipccsymposium/>) よりお申し込み下さい。

※参加募集は締切期限内であっても定員に達し次第締め切らせて頂きます。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）シンポジウム「気候変動の科学とわたしたちの未来」の開催について（お知らせ）

平成 26 年 11 月 18 日（火） 16:00

環境省地球環境局総務課研究調査室

直通：03-5521-8247

代表：03-3581-3351

室長：竹本 明生（内線 6730）

室長補佐：野本 卓也（内線 6731）

担当：藤井 麻衣（内線 6732）

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）による第 5 次評価報告書（AR5）の公表を踏まえ、シンポジウム「気候変動の科学とわたしたちの未来」を下記のとおり、本年 12 月から来年 3 月にかけて計 8 回、全国各地で開催致します。なお、各シンポジウムの詳細は、開催の約 1 ヶ月前にそれぞれ改めて発表します。

1. 概要

昨年から本年にかけて、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）より、3 つの作業部会報告書と統合報告書（SYR）から成る第 5 次評価報告書（AR5）が公表された。AR5 に示されている気候変動に関する最新の科学的知見を、同報告書の作成をリードした議長団（IPCC 全体の議長と副議長、各作業部会の共同議長と副議長から成る）のメンバーや AR5 執筆者等の専門家からの要点をおさえた説明により、一般市民にわかりやすく伝え、市民の気候変動問題に対する知識や関心を深めることを目的に、本年 12 月から来年 3 月にかけて計 8 回、全国各地でシンポジウム「気候変動の科学とわたしたちの未来」を開催する。

気候変動の影響ととるべき適応策は地域ごとに異なることから、本シンポジウムでは、シンポジウム開催地における気候変動の身近な影響やそれに対する適応策についても具体例をとりあげ紹介し、市民が気候変動問題をより身近に感じ、対応策について考える契機を提供する。

2. 日程等

(1) 2014 年 12 月 18 日（木） 神戸

基調講演者：David Wratt（デイビッド・ラット）第 1 作業部会副議長（ニュージーランド）（予定）

(2) 2014 年 12 月 25 日（木） 東京

基調講演者：Fredolin Tangang（フレドリン・タンガン）第 1 作業部会副議長（マレーシア）（予定）

(3) 2014年12月27日(土) 松山

基調講演者：Fredolin Tangang (フレドリン・タンガン) 第1作業部会副議長 (マレーシア) (予定)

(4) 2015年1月23日(金) 長崎

基調講演者：Nirivololona Raholijao (ニリヴォロローナ・ラホリジャオ) 第2作業部会副議長
(マダガスカル) (予定)

(5) 2015年1月29日(木) 東京

基調講演者：Thomas Stocker (トーマス・ストッカー) 第1作業部会共同議長 (スイス) (予定)
Chris Field (クリス・フィールド) 第2作業部会共同議長 (米国) (予定)

(6) 2015年1月31日(土) 福島

基調講演者：Sergey Semenov (セルゲイ・セメノフ) 第2作業部会副議長 (ロシア) (予定)

(7) 2015年3月2日(月) 札幌

基調講演者：Eduardo Calvo Buendia (エドアルド・ブエンディア) 第2作業部会副議長 (ペルー)
(予定)

Jim Skea (ジム・スキー) 第3作業部会副議長 (英国) (予定)

(8) 2015年3月13日(金) 岐阜

基調講演者：Jan-Pascal van Ypersele (ジャン・パスカル・ヴァン イペルセル) 副議長
(ベルギー) (予定)

なお、各シンポジウムの詳細(開催場所、開催時間帯、講演者、事前登録方法等)については、それぞれ、開催の約1ヶ月前にあらためて発表します。